



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月8日

上場会社名 武蔵野興業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9635 URL <https://www.musashino-k.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河野 義勝  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 中野 公一 (TEL) 03-3352-1439  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	316	2.5	16	826.7	18	—	18	—
2024年3月期第1四半期	309	△2.6	1	△80.0	△3	—	△4	—

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 18百万円(—%) 2024年3月期第1四半期 △4百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	17.49	—
2024年3月期第1四半期	△4.33	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	5,988	3,600	60.1	3,441.27
2024年3月期	5,978	3,582	59.9	3,423.59

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 3,600百万円 2024年3月期 3,582百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,310	2.1	31	49.1	35	87.2	20	328.7	19.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2025年3月期1Q	1,050,000株	2024年3月期	1,050,000株
2025年3月期1Q	3,624株	2024年3月期	3,624株
2025年3月期1Q	1,046,376株	2024年3月期1Q	1,046,379株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の基準に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあつたての注意事項については、添付資料のP3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(収益認識関係)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、株価上昇や賃上げ、インバウンド消費増加など、景気を後押しする明るい材料が見られる一方、物価上昇などを背景に消費マインドの改善にも足踏み傾向が見られるなど、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループは基幹事業である映画事業に重点を置きつつ、各事業部門において業績の向上に努めてまいりました。その結果、全体として売上高は 3億1千6百万円（前年同期比2.5%増）、営業利益は1千6百万円（前年同期比826.7%増）、経常利益は1千8百万円（前年同期は3百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1千8百万円（前年同期は4百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

当第1四半期連結累計期間のセグメントごとの業績の状況は以下の通りであります。

#### (映画事業部門)

映画興行事業におきましては、「武蔵野館」では、『あんのこと』『ジャン＝ポール・ベルモンド傑作選 GRAND FINALE』、また「シネマカリテ」では、『胸騒ぎ』『プリンス ビューティフル・ストレンジ』などを上映し、なかでも『あんのこと』が好調な成績を記録しました。また、当社が主催する新宿東口映画祭は、今年で4年目を迎え、「扉のむこうへ」をテーマに邦画・洋画の名作、アニメ、カツベン映画などバラエティに富んだ作品を上映しました。

映画配給関連事業におきましては、当社連結子会社の配給作品『白日青春-生きてこそ-』（香港映画）は継続的に多くの劇場で上映されました。また、『認知症と生きる希望の処方箋』（邦画）は、作品のテーマに共感が広がり、興行以外でも複数の団体で上映会を実施しました。その結果、部門全体の売上高は1億4百万円（前年同期比0.9%減）、セグメント損失は6百万円（前年同期は8百万円のセグメント損失）となりました。

#### (不動産事業部門)

不動産賃貸部門におきましては、テナント収入は引き続き底堅く推移し、主要テナントビルの設備更新等、維持管理費用の継続的な発生はあるものの、不動産賃貸部門全体としては堅調に推移しました。不動産販売部門におきましては、景気の動向に注意を払いながら仲介取引の拡大に努めました。その結果、部門全体の売上高は1億4千6百万円（前年同期比3.6%増）、セグメント利益は8千5百万円（前年同期比7.5%増）となりました。

#### (自動車教習事業部門)

自動車教習事業部門におきましては、普通自動車、大型自動車、自動二輪車及び高齢者講習を売上の中心に置きつつ、各車種全般に亘り積極的な営業活動を行ってまいりました。当該営業活動により、普通自動車、大型自動車、自動二輪車の新規入所の教習生数は前年を上回り、また、高齢者講習につきましても、概ね計画通りの受け入れ数となりました。その結果、部門全体の売上高は6千2百万円（前年同期比5.6%増）、セグメント利益は1百万円（前年同期は4百万円のセグメント損失）となりました。

#### (商事事業部門)

当該事業部門の主軸である東京都目黒区において経営委託している飲食店につきましては、営業成績はコロナ以前の水準を回復し、引き続き安定的に推移しました。その結果、部門全体の売上高は1百万円（前年同期比1.6%減）セグメント利益は1百万円（前年同期比1.6%減）となりました。

#### (その他)

主として自販機手数料であります。部門全体の売上高は1百万円（前年同期比14.7%増）、セグメント利益は1百万円（前年同期比15.3%増）となりました。

※ スポーツ・レジャー事業部門は営業中止中であります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、売掛金など流動資産が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ1千万円増の59億8千8百万円となりました。

(負債)

負債合計は、未払債務の減少や有利子負債の返済による減少があったことなどから、前連結会計年度末に比べ8百万円減の23億8千7百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が増加し、前連結会計年度末に比べ1千8百万円増の36億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期連結業績予想につきましては、現時点においては、2024年5月14日発表の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	758,322	760,446
売掛金	36,108	52,145
棚卸資産	1,865	1,870
その他	77,855	75,408
流動資産合計	874,153	889,871
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	473,203	462,632
機械装置及び運搬具(純額)	9,471	8,355
工具、器具及び備品(純額)	20,910	20,448
土地	3,904,167	3,904,167
リース資産(純額)	7,659	7,201
有形固定資産合計	4,415,412	4,402,804
無形固定資産		
借地権	73,315	73,315
その他	9,644	9,284
無形固定資産合計	82,959	82,600
投資その他の資産		
投資有価証券	434,691	437,329
繰延税金資産	49,011	53,565
敷金及び保証金	88,646	88,646
その他	37,337	37,766
貸倒引当金	△4,113	△4,233
投資その他の資産合計	605,572	613,073
固定資産合計	5,103,945	5,098,478
資産合計	5,978,098	5,988,350

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	63,552	52,516
短期借入金	52,308	50,094
リース債務	1,832	1,832
未払法人税等	6,104	6,913
賞与引当金	14,547	23,265
その他	193,328	199,078
流動負債合計	331,673	333,701
固定負債		
長期借入金	285,056	272,855
リース債務	5,826	5,368
退職給付に係る負債	54,850	56,749
役員退職慰労引当金	8,906	8,906
長期預り敷金	618,369	618,369
再評価に係る繰延税金負債	1,082,196	1,082,196
その他	8,860	9,336
固定負債合計	2,064,066	2,053,782
負債合計	2,395,739	2,387,483
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,004,500	1,004,500
利益剰余金	131,012	149,313
自己株式	△8,721	△8,721
株主資本合計	1,126,791	1,145,091
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,483	3,691
土地再評価差額金	2,452,083	2,452,083
その他の包括利益累計額合計	2,455,567	2,455,774
純資産合計	3,582,358	3,600,866
負債純資産合計	5,978,098	5,988,350

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)
売上高	309,097	316,783
売上原価	157,926	156,154
売上総利益	151,171	160,629
販売費及び一般管理費	149,411	144,327
営業利益	1,759	16,301
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,095	1,129
持分法による投資利益	-	1,745
その他	663	110
営業外収益合計	1,758	2,984
営業外費用		
支払利息	286	687
持分法による投資損失	6,616	-
その他	-	37
営業外費用合計	6,902	725
経常利益又は経常損失(△)	△3,385	18,561
特別利益		
特別損失		
環境対策費	1,799	-
特別損失合計	1,799	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△5,184	18,561
法人税、住民税及び事業税	1,224	5,035
法人税等調整額	△1,882	△4,774
法人税等合計	△657	261
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,527	18,300
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,527	18,300



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,527	18,300
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	222	207
その他の包括利益合計	222	207
四半期包括利益	△4,305	18,507
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,305	18,507

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針台28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他	合計
	映画事業	不動産事業	自動車教習事業	商事事業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	105,150	10,141	59,354	1,926	176,572	1,381	177,954
その他の収益	—	131,143	—	—	131,143	—	131,143
外部顧客への売上高	105,150	141,284	59,354	1,926	307,716	1,381	309,097
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	900	—	—	900	—	900
計	105,150	142,184	59,354	1,926	308,616	1,381	309,997
セグメント利益又は損失(△)	△8,499	79,637	△4,521	1,926	68,542	1,325	69,868

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、著作権事業その他であります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	68,542
「その他」の区分の利益	1,325
セグメント間取引消去	2,939
全社費用(注)	△71,048
四半期連結損益計算書の営業利益	1,759

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 4. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他	合計
	映画事業	不動産事業	自動車教習事業	商事事業	計		
売上高							
顧客との契約から生じる収益	104,231	12,466	62,684	1,895	181,277	1,584	182,861
その他の収益	—	133,921	—	—	133,921	—	133,921
外部顧客への売上高	104,231	146,387	62,684	1,895	315,198	1,584	316,783
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	900	—	—	900	—	900
計	104,231	147,287	62,684	1,895	316,098	1,584	317,683
セグメント利益又は損失(△)	△6,851	85,610	1,747	1,895	82,401	1,528	83,929

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、著作権事業その他であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	82,401
「その他」の区分の利益	1,528
セグメント間取引消去	3,461
全社費用(注)	△71,089
四半期連結損益計算書の営業利益	16,301

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの資産に関する情報  
該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	16,276千円	16,344千円

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。